

第3学年 特別活動(学級活動)

第3学年の学習到達目標

- (1) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るようにする。
 (2) 集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

第3学年の学習内容

学期	題 材	学習のねらい	学習内容
前期	学級の目標を決めよう	3年生としての自覚をもち、楽しい学級づくりをするようにする。	学級の目標
	学級の係と席を決めよう	係や班の目的を知り、がんばろうとする態度を育てる。	学級の係と席
	1年生を迎える会の準備をしよう	1年生を温かく迎えてあげるにはどうすればよいか考える。	1年生を迎える会
	忘れ物をなくそう	忘れ物をする原因について考え、忘れ物をしないようにする。	忘れ物
	話し合いのきまりを話し合おう	話し合いのきまりについて考え、お互いを認め合うようにする。	話し合いのきまり
	班活動の計画について話し合おう	友だちと協力して目標を作り、実行するように努力する。	班活動の計画
	スポーツ大会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	スポーツ大会
	仲良し会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	仲良し会
	梅雨時の安全な通学について考えよう	梅雨時の安全な通学の仕方について知り、正しく通学できるようにする。	梅雨時の安全な通学
	雨の日の遊びを考えよう	雨の日の過ごし方について考える。	雨の日の過ごし方
	図書館の利用の仕方を知ろう	図書館のきまりを理解し、上手に利用できるようにする。	図書館のきまり
	班活動の反省をしよう	前期の班活動をふり返り、後期に向けてのめあてを持つ。	班活動の反省
	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	夏休みの過ごし方を考えよう	自分に合った計画を立て、有意義な過ごし方について考える。	夏休みの過ごし方
読書発表会をしよう	読んだ本について紹介し合い、いろいろな本に親しむようにする。	読書発表会	
班活動の見直しをしよう	班活動についてふり返り、協力してがんばろうとする。	班活動の見直し	
後期	後期のめあてを決めよう	各自のめあてを考え、努力するようにする。	後期のめあて
	後期の係と席を決めよう	前期の反省をもとに、協力してがんばろうとする。	後期の係と席
	仲良し会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	仲良し会
	スポーツ大会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	スポーツ大会
	壁新聞コンクールをしよう	壁新聞づくりを通して協力して活動するようにする。	壁新聞づくり
	遊びのルールについて考えよう	みんなで楽しく遊ぶにはどうすれば良いか考える。	遊びのルール
	楽しい給食の時間にしよう	食べ方や片付け方をふり返り、楽しい給食の時間について考える。	食べ方や片付け方
	班活動の反省をしよう	後期の班活動をふり返り、4年生に向けてのめあてを持つ。	班活動の反省

後期	お楽しみ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	お楽しみ会
	冬休みの過ごし方を考えよう	有意義な冬休みの過ごし方について考える。	冬休みの過ごし方
	新年のめあてを決めよう	各自のめあてを考え、努力する。	新年のめあて
	寒さに負けず外で遊ぼう	みんなで楽しく遊べる遊びを考え、外で遊ぶようにする。	楽しく遊べる遊び
	学級文集を作ろう	1年間をふり返り、各自の思い出を文集にする。	学級文集
	楽しいクラブ活動について知ろう	クラブ活動について知り、不安を取り除き意欲を高める。	クラブ活動
	6年生を送る会の準備をしよう	お世話になった6年生に感謝の気持ちを持つ。	6年生を送る会
	正しい姿勢について考えよう	正しい姿勢を保ち、健康に過ごそうとする。	正しい姿勢
	学級お別れ会をしよう	みんなで楽しいひとときを過ごし、仲良くなるようにする。	学級お別れ会
	1年間をふりかえり、4年生に向かってがんばろう	1年間をふり返り、4年生になるための心構えを持つ。	1年間の反省
	春休みを楽しく過ごそう	有意義な春休みの過ごし方について考える。	春休みの過ごし方

○ 学習活動の計画は、そのときの学級の実態などに応じて変更することもあります。

評価の観点・方法

学級活動は他の教科と異なり、よい子のあゆみなどで示す評定はありません。

学級活動は大きくは二つの内容に分かれます。一つが「学級や学校の生活の充実と向上に関する内容」で、もう一つが「日常生活や学習への適応及び健康や安全に関する内容」です。

前者は、主に教師の指導のもとに、児童が自ら考えたり話し合ったりします。後者は、学校生活や行事に合わせ、教師が計画的に指導内容の重点化を図りながら進めていきます。

評定には現れませんが、児童がこれらの活動を通して、集団の一員として友達と協力してよりよい生活を築こうと活動しているか、さらに、心身の調和のとれた発達と個性の伸長が図れたかなどを評価していきます。

多くは、教師の観察や児童自身の自己評価などを参考に総合的に評価をしていきます。

また、活動そのものがどうであったかをふりかえる観点としては、「話し合うべき事項に対する意見が多く出されたか」「児童による自主的な活動が行われたか」「多くの児童の意見を取り上げることができたか」などがあげられます。

使用材教等

学習の興味を高め、理解を深めるために、特に「日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」については、絵、写真、VTRなどを教材として活用します。

留意事項

学校の持っている教育力を地域に、また、地域の教育力を学校に生かしていきたいと思っています。いろいろな活動で、指導者やゲストティーチャーが必要になる場面が多々あると思います。学校だよりや学年・学級だよりでもお知らせしますので、児童の願いや思いが実現できますよう地域のご支援、ご協力をお願いいたします。

その他

学校行事や「1年生を迎える会」「6年生を送る会」などの児童会行事とも連携させながらコミュニケーション能力や人のかかわり能力を身につけていきます。

また、「健康や安全に関すること」については、学校栄養職員や養護教諭など専門性を有する教職員などの協力を得て、学校給食や保健の領域などとの密接な関連も図ります。